

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: CELEBRATE ROTARY - 100 YEARS

「ロータリーを祝おう - 100年の歩み」

2004~2005年度・国際ロータリーテーマ/グレンE.エステス・シニア会長

「ひとが基本です - みな輪になり手をつなごう」

2004~2005年度・東京新南ロータリークラブテーマ/入沢頼二会長

【本日の例会】2005年1月21日 第871回例会

第4回クラブ協議会

「各委員会上半期活動報告と下半期活動計画」

(例会後13:10~14:30)

【先週報告】1月14日 第870回例会

◎卓話

「企業の社会的責任(CSR)と経営のあり方」

日本IBM株式会社 常務執行役員(CSR)担当

柴田 稔久氏  
(紹介者 清水会員)



◎会長報告

岸会員が1月5日急逝され、1月9、10日のお通夜、告別式に際し、会員皆様多数のご列席を賜りましたことに対し、利依子夫人から石井会員を通じお礼のお言葉がありました。改めて岸会員のご冥福をお祈り致します。

◎幹事報告

- ①本日クラブ定款・細則をお配りしました。2004年規定審議会の決議が反映されております。
- ②下期会費と地区大会登録料を請求させて頂きました。
- ③地区大会[2/10(木)~11(金・祝)]は、全員登録となっております。登録締切りの昨年12月17日(金)までに申込みのなかった会員の皆様には、大会第2日目2月11日(金・祝)の登録をさせて頂きました。ご了承願います。
- ④1月理事会において、スマトラ島沖地震・津波被災者への義捐金として100,000円をニコニコボックス会計(国際奉仕委員会費)より寄付することを承認しました。
- ⑤東京六本木RCチャーターナイト(1月24日)の登録申込みは、登録料2万円を添えて事務局にお申込みください。

◎出席報告

会員57名/出席40名・欠席17名(出席規定免除者7名)

【次週予告】2005年1月28日 第872回例会

◎卓話予定

『ロータリーの友』から見たロータリー100周年」

ロータリーの友 編集長 二神典子氏  
(紹介者 清水会員)



1月14日 /10件 24,000円

2004~2005年 累計 761,000円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

清水 實/柴田様、忙しい中有難う御座います。本日の卓話宜しくお祈りします。河原 勢自/遅れましたがあげましておめでとうございます。馬場 一廣/今年もどうぞ宜しくお願いします。高須 康有/皆様本年も宜しくお願い致します。山下 忠治/本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。田村 廣治/「エイブル」欠席申し訳ありません。尾上 寛/明日のエイブル宜しくお願いします。福島 賢哉/寒くなってきましたネ。小原さんと目が合ってニコニコします。椎名 康允/昨年はお世話になりました。本年も宜しくお願い致します。小原 健/みなさまニコニコ有難うございました。

新春火曜会報告

穏やかな晴天続きの正月を終えた連休明けの1月11日、毎年恒例の「新春放談」というテーマで今年最初の火曜会が開催された。

今年は1月5日に岸さんの突然の訃報の便りがあり、前日が告別式だった為、岸さんの思い出なども語ろうという事になり15名の出席者の方々が各自今年の抱負、お正月の過ごし方、また岸さんとの交友、思い出などを語られた。

その中で今年お嬢様が結婚の予定があるお二方(庄司さん、田村昭二さん)から、娘を嫁がせる父親の心境などを語られ、一抹の寂しさを感じられた。

また岩上さんからは1月15日のエイブルの映写会の協力へのお願いがあり、出席者一同が今一度他の会員に協力の働きかけをしようとの確認をした。

連休明けの為出席者が少ないのではと心配をしていたが15名の出席を頂き感謝の気持ちで一杯である。

閉会后場所を岩上さんの建物の1階にある、プロントに場所を移してロータリアン個々の思いを熱く語り、また何人かは3次会へと夜の赤坂の消えていった。

(石井 記)

出席者15名:石井、庄司、竹本、入沢、田村(昭)、尾上、吉岡、吉田(用)、大日方、岩上、西澤(民)、村山、武下、河原、四分一(敬称略、順不同)

## ロータリー創立100周年記念事業報告

ロータリー創立100周年記念事業としての『講演と映画「エイブル」上映会』が1月15日(土)に赤坂区民センターホールで当クラブ主催で開催された。流れは以下のようである。

1. 開場
2. ピアノ、バイオリン演奏
3. 司会(四分一副委員長)
4. 開会挨拶(入沢会長)
5. スペシャルオリンピックスの映画上映
6. 湯澤義郎氏(スペシャルオリンピックス 専務理事)の講演
7. 休憩
8. 映画「エイブル」の上映
9. 謝辞と閉会挨拶 (大日方実行委員長)
10. 閉会



当日はあいにくみぞれ交じりの寒い日のためか開場時の出足はやや鈍かったものの、当初予定していた約70名の小中学生、保護者、教師の方々に来場していただくことができました。これらの来場者

は、担当会員が港区の小、中学校を複数訪問して参観をお願いした結果である。

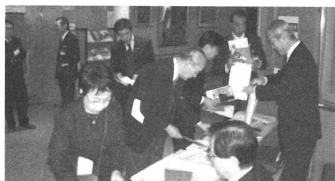
当クラブ会員は午前11時に現地集合、岩上社会奉仕委員長の指示の下、開場設営、受付、照明、音響、記録等の役割分担がてきぱきと決められ、実行委員会により綿密に準備された「運営マニュアル」に沿って会場準備を行った。

会場は観客席が400席もある立派な会場で、開場から1時半の開演を待つ間には、ピアノ、バイオリンの演奏を聴いていただいた。

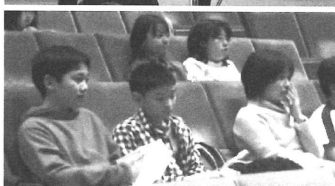
いよいよ1時半になり、四分一副委員長の司会により会が始まった。四分一会員は、ロータリークラブの歴史、活動内容をわかりやすく説明され、ロータリークラブの良いPRの機会となった。その後、入沢会長の



開会挨拶があり、スペシャルオリンピックスを紹介する映画上映、およびスペシャルオリンピックス・専務理事である湯澤義郎氏の講演と続いた。



ロータリー創立100周年記念  
講演と映画上映



講演で湯澤氏は2月に長野で開かれるスペシャルオリンピックスの世界大会に参加し、知的発達障害のある人たちと一緒にスポーツをし、彼らの社会参加を応援してほしいと呼びかけた。

さて、この日のメインイベントである映画「エイブル」であるが、スペシャルオリンピックスの創設者である故ケネディ大統領の実妹ユニス・ケネディ・シュライバー女史の演説、「障害者はできないのではない。社会が彼らをできないと思って、できなくさせているのだ。」を訴える感動的な映画であった。ダウン症の元君、自閉症の淳君という2人の「知的障害」のある日本の少年が数ヶ月間言葉も習慣も違うアメリカでホストファミリーと一緒に暮らし、リハビリテーション・センターで仕事をしたり、地元のハイスクールの特別教育クラスに通う体験をする。日々の暮らしの中で彼らが周囲の人々と信頼関係を築き上げていき、今まで周囲の人から、また社会からできないと思われていたことができるようになっていくことを綴った「記録」映画である。最後は、元君と淳君との別れに際し、ホストファミリーのルビ夫妻は数ヶ月間の奮闘の日々を思い返し、成し遂げたものの大きさに感動し、また別れを寂しがって泣いた。感動的なシーンであった。観客の方々も大きく心を動かされたことと思う。

映画終了後、大日方実行委員長より謝辞と閉会の挨拶があり、閉会となった。

今回の開催にあたって後援を、港区、港区教育委員会、(財)港区スポーツふれあい文化健康財団また、TBSとKISSポート財団の協賛をいただきました。関係各団体の皆様には紙面を借り、お礼を申し上げます。

会員は撤収作業を行い、その後赤坂の吉岡会員の行きつけの店で「打ち上げ」をし、成功を祝った。委員の皆様ご苦勞様でした。(早川記)

参加者:青野、馬場、コンシニ、福島、早川、入沢、石井、石川、岩上、小杉(修)、松永、村山、西澤(正)、西澤(民)、大日方、尾上、柴本、四分一、椎名、清水、新保、庄司、高須、竹本、武下、田村(昭)、土屋、塚田、渡部、吉岡(30名、敬称略)



東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕入沢頼二 〔副会長〕柴本芳郎 〔幹事〕庄司泰典 〔会報委員長〕早川清隆 〔今週の担当〕福島賢哉  
事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp  
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111